

すっかり秋めいてきた9月。モリタのハイジニストセミナーに参加してまいりました。日曜日の秋葉原、そこに集う歯科関係者500人強！

あちこちで商品サンプルや新商品の説明にごった返す会場は少しでも情報を持って帰ろう！ 体験できるものはしよう！ という歯科衛生士の熱気でむんむんでした。

そんなセルフケアに着目した加藤正治先生（高輪歯科デンタルケアセンター院長）のお話は、たくさんの歯磨剤やガムを応用しての再石灰化療法やブラーク・ステインコントロールの紹介をもとに、“今日の話はあくまで参考に、自分の医院のことは自分たちで割りあげていくことが重要”とお話されていたのが印象的でした。

そして何と言っても面白かったのが、歯科衛生士の石原美樹さんと歯科衛生士であ

## セミナー☆まにあ

りながらカウンセラーをされている水木さとみさんのセッション。

石原さんの患者様対応についての経緯を共有した後の水木さんの心理的分析。患者様のどんな発言があってどんな表情、空気があって石原さんがそれをどう感じ、何をしたのか。表面的なコミュニケーションスキルでもマニュアルでもない、と水木さんは石原さんの対応についてお話されていました。

この人に話しても安心だと思ったとき、人は本音を話そうと思う。

石原さんの対応のポイントは、仕事意識のスイッチ ON, だそうです。



（長山和枝・わたなべ歯科）

どんな時も感情を一定にすることを心掛けていること。常に平常心を保つことを心掛けていること。そして、共感的理解を示す姿勢。そのうえでの、患者さんのニーズに基づく提案をされていること。

臨床でのリアルな会話がそこにはありませんでした。自分の感情をコントロールし、患者さんは何を期待しどのようなことが心配なのかにアンテナを向ける。

そう簡単にもてる姿勢ではないかもしれませんが、私たちは歯科医療のプロ。プロとして求められているのは、本当にその患者様のために必要な“ヘルプ”ではなく“サポート”を考えることなのだ学びました。ありがとうございました。

## DH育成コース

### 講師の目



#### 口腔内写真撮影、歯周組織検査 実習、検定をみて

私は毎回、写真検定の患者役をやるのですが、「マジ痛くて耐えられない！」というもだいが減りました。患者さんと長いおつきあいをしていくのに口腔内写真は必須です。「こんなによくなったのね！」「ずーっといい状態ですね」と口腔内の変化を喜んだり、変化のないことを喜んだりする

ためにも定期的に撮り続けます。患者さんにも撮られたくないと思われないことが重要です。ミラーの出し入れを丁寧に、ミラーの端を骨、歯肉、口蓋、に当てないよう位置づけましょう。構図の取り方はよくなっています。ピントはもちろん、歯や歯周部、辺縁歯肉が唾液で隠れていたらボツです。サクシオン&エアでカピカピ歯肉を目指しましょう！ 口腔内写真を見ればその医院のレベルが分かります！

歯周組織検査ではウォーキングストロークの幅が大きすぎると深いポケットを見逃す危険があります。細かく、かつスピーディに操作できるよう練習しましょう。その他、根面からプローブが離れないように、近遠心挿入時のプローブの角度を確実に、ミラー視をきちんとして正しい姿勢で行うよう心がけましょう。目指せ、認定歯科衛生士！

（田村 恵・河野歯科医院）

私は歯科衛生士2年目です。歯周組織検査のセミナーに初めて参加しました。

プロービングは練習してなんとか院長と先輩衛生士から合格をもらい、主に初診の患者さんのP検査（歯周組織検査）を担当させていただいていました。しかし、最後臼歯のプローブの挿入の仕方や正確に測れているのか不安に思っていました。自分ではどこが間違っているのか、どうすれば

## セミナー報告

### 東京 HCG 歯周組織検査セミナー（7月10日・河野歯科医院）参加レポート

改善することができるのかわからなかったのですが、実習することで今までの不安を解消することができました。

今回学んだことはたくさんありますが、姿勢に気をつけたり、プローブの持ち方など基本的なことがいつの間にか自己流にな

ってしまっていて、そのことがやりにくかった原因だということに気づきました。今回のセミナーを機によりいっそう練習に励み確実に自分の力にできるようにがんばろうと思います。

（清野早織・あめみや歯科医院）



# ちゃんと撮れてる？ 口腔内規格写真撮影

## Lesson 12

### 『ミラーの使用方法』

一度口の中に入れたミラー。ついた唾液をちょっと拭き、今度はそこを持って逆側を口の中に入れ、ませんよね。そしてミラーを入れるとき、口唇の排除に右手を使いやしませんよね。そしてまたその指でシャッター押ししたりしませんよね。まさかその後、唾液のついたグローブのままカメラのメモリーカード抜いて

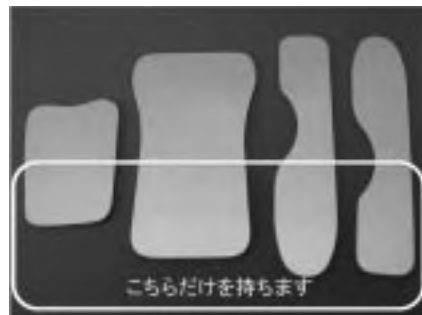
から、さらにまたそのグローブでパソコンの操作なんて、まさかまさかしないですよね。まさかね。いくら器具を滅菌してもそこそこ怠れば結果は同じ。「感染」にかわりはありません。

9枚法や12枚法ではミラーを3枚使います。片方だけを持ち、もう片方だけを口腔内に入れます。3枚あればグロー

ブなくてもいけるわけです。口の中を触りませんから。

ミラーを挿入するときは、ミラーだけを使って頬粘膜や舌を排除し口腔内に挿入します。指は使いません。指を使う必要があるのは、ミラーが奥まで挿入されていないからです。ご注意ください。

(KAZU・フリー)



私は衛生士になって5年目。

そろそろ中堅と言われる経験年数だけれど、ちゃんと歯科衛生士の仕事をしはじめてからはまだ1年半。だから本当の意味ではまだ2年目なんです。

歯科衛生士になって2年間は予防に全く携わっておらず、ただ目の前の歯石を何も考えず取っていただけでした。

これではいけない、予防にきちんと携わりたい!と思ったのが約3年前。

右も左もわからず手探りで1年、始めは“これを読めば今日から予防ができます”なんてノウハウ本を読んだり…今考えると笑っちゃうような勉強。それ

## ★I am DH★ ～なってよかった衛生士～

からヘルスケアに出会い、予防とは何かを学び、本格的に勉強するようになりました。そこからまだ1年半。

いろいろあって医院が変わったりしたので、現在自分の担当患者さんは少ないけれど、患者さんの幸せ、健康を考え、一人ひとりに本気で向き合いながら一緒に歩む毎日は、時に大変だけれどもやりがいに満ち溢れています。

以前の私では出会うことのなかった患者さんの笑顔…

その笑顔のため、そしてそれをパワーに日々頑張ることができています。

勉強や練習は自分のためでもあるけれど、必ずその延長線上には患者さんがいる。誰かのために、こんなに頑張ることのできる歯科衛生士という仕事が大好きです! (丸山理香・横田歯科)

埼玉県蓮田市をみなさんご存知でしょうか。「どこ、それ?」と思われている多くの方! この機会にぜひ知ってください。蓮田市は埼玉県の東中部に位置しており、自然に恵まれたところ。人間が初めて蓮田市に足跡を残したのは今から5千年前の「旧石器時代」で、昭和25年頃まで人の出入りが少なかったため、古墳や貝塚などの遺跡や土器が当時のままの姿で数多く出土しています。有名なのは蓮田市黒浜地区の“黒浜貝塚”です。自然環境の変遷や当時の生業を考えるうえで貴重なものとして平成18年に『国指定史跡』に指定されました。そこから出土した“黒浜式土器”の一番大きな物は昨年、蓮田市より全国の展示会場を巡り多くの方々に見ていただきました。



先日、市の文化財展示館で本物の土器を触ってきました。「厳重に保管されているんだろう…」と想

像していた私の期待は見事に裏切られ、何と裏側からガムテープが張られた縄文式土器がダンボールの中から出土(?)してきました。笑いそうになりながら持ってみたとこどしりと重く、土器と一緒に当時の人々の生活に少しだけ触れたような気がして、ちょっぴり嬉しかったです。



帰りに蓮田市推奨特産品“縄文ロマン”という和菓子を買いました。縄文時代と同じ空を見上げながら“縄文ロマン”をほおばり、少し不思議な気持ちになりました。みなさんも“平成時代”から“縄文時代”へタイムスリップしてみませんか。蓮田市へどうぞお越しください。(丸山妙子・鈴木歯科医院)

# YUKUSAKI

見学医院 杉山歯科医院 (八千代市)  
見学日時 9月16日(金)  
10:30~16:00  
地域密着型! ④地の歯医者さん、  
でもデータはあこいぞ!!

#### 見学のポイント

- ① スタッフ全員、無駄のない連携チームプレイ!
- ② 限られたスペースの有効活用
- ③ 必要なものは各ユニットに1台ずつ
- ④ ウィステリアならではのデータ管理

# 突撃!!ヘルスケア診療室!

(山田美穂・河野歯科医院, 落合真理子・ひかり歯科)

## ① スタッフ全員、無駄のない連携チームプレイ!

例えば、メインテナンスの患者さん。X線撮影、口腔内写真は撮り終わると手の空いているスタッフがプリントまでを済ませてくれる。衛生士の施術全てが終わるころには患者さんの健康手帳に今日の検査結果と口腔内写真が追加されている。見事なチームプレイを見せていただきました。

更に杉山歯科医院ではカルテが手書きで、会計時に受付でカルテ入力から全て入力し、短時間で会計を済ませる受付のスタッフさんには脱帽!

杉山先生いわく、やはり受付の負担は大きいとのことで診療室でのアシスタント業務と受付業務を2人の助手の方が交代制でやっているとのことでした。

「一人しかできない仕事を作らないようにしている」納得です。

これはスタッフに長く務めてもらう秘訣かもしれませんね!

## ② 限られたスペースの有効活用

杉山歯科医院はユニット5台でパーテーションにて区切られた半個室の診療室です。通路は1本でもスタッフの通る動線がしっかりできていて、皆さんが無駄なくテキパキ仕事をされている様子には驚かされました。

前回お邪魔した大西歯科同様、診療室と消毒コーナーとの対面キッチン方式はナイスアイデアだと個人的には思っております(笑)。収納にも色々な工夫がされており、カルテも継続患者さんをメインに置き、そうでないカルテは新患でも裏へしまう徹底ぶり。

## ③ 必要なものは各ユニットに1台ずつ

各ユニットに基本セットが収納されており、口腔内写真用カメラ、スプラッソン P-MAX, PMTC 用コントラ(ナカニシ Taskal)等、衛生士が使うものはすぐ使えるようになっています。また、ドクターが自ら口腔内写真を撮ることもあり(目的は違うが)杉山先生が普通に写真を撮っている姿に驚いてしまいました。

## ④ ウィステリアならではのデータ管理

ヘルスケア診療のなかで患者さんのデータ管理はとても重要です。

杉山歯科医院ではウィステリアを使用し、様々な統計をとれるよう工夫されていました。例えばメインテナンスに入ってから抜歯になった歯について、何が理由で抜歯に至ったかを記録して



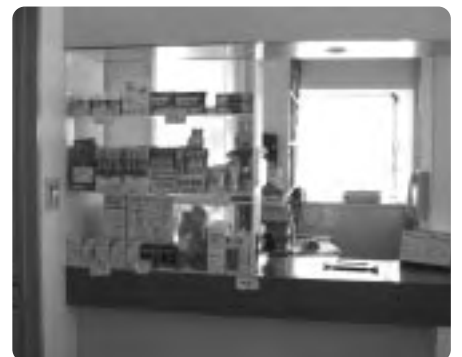
いますし、カリエスについても同様に細かなデータがしっかり蓄積されているのです。

これは杉山先生ならではのこともかもしれませんが、とても興味深いデータであることは確かですよね。

その他、特徴的だったのは受付。診療室の表では診察券を受け取り、治療の終わった患者さんは、診療室から出る前に会計ができる仕組みになっている。

そのため、診療室側のスペースが広くなっており、歯ブラシなどの販売品も充実している。ロフトや東急ハンズでも買えないものを置くようにしているとのこと。義歯用の用品などは診療室内で会計ができれば購入しやすそうだな... とも思いました。

更に今回ミーティングにも参加させて頂いたのですが【ヒヤリ・ハット報告】というのがあり、日常のなかで起こったちょっとしたトラブルや間違いなどを紙面に記入し、ファイリングされているものをみんなで確認し、再発防止策を考える。ちょっとしたことは



忘れてしまいがちですが、こうすることでそれぞれが責任感をもつことができます。

とにかく診療以外にもたくさんの仕事をこなす杉山先生。お忙しいなか、

貴重なお時間をいただきありがとうございました！ スタッフの皆様にもいろいろ教えていただき勉強になりました。ありがとうございます！ とても暖かい雰囲気の素敵な医院でした。



### デンタルハイジーン (9月20日発行)

B5判 96ページ 1,365円

特別企画『知っておきたい！フッ化物応用の最新エビデンス』

**小林** 今までうがいができるようになってからフッ化物配合の歯磨剤の使用をお勧めしていたけれど、萌出直後から使用することで、より効果的だと知ることができました。

**笠井** そうですよ。実際に、萌出直後は

歯磨剤を1回のハミガキでどのくらい使用したら良いのかが写真で掲載されていたため、イメージしやすかったです。患者さんにも『切った爪程度の少量』とたとえると伝えやすいですね。

**仲村** 最後のQ&Aのコーナーでは、フッ化物の補綴物への影響の部分が分かりやすくてよかったかな。中性フッ化物塗布液と酸性フッ化物塗布液を使った実験も詳しく

載っていて参考にしました。

**小林** 実際に患者さんから質問としてよくいただく、フッ化物の安全性などが分かりやすく書いてあったため、すぐに活用できました。

**笠井** 全体的に写真や図が多く、分かりやすかったですね。



医歯薬出版刊

## あの本 この本 読みくらべ隊

(笠井みなみ・小林美佳・仲村麻衣子：武内歯科医院)



### DHstyle (9月1日発行)

B5判 106ページ 1,260円

特集『読者の悩みにお答えします！ SRP臨床講座』

**仲村** なぜ臼歯部の遠心隣接面と遠心隅角部のSRPがやりにくいのか、細かい説明が載っていて納得できました。

**小林** 日頃、SRPを行っているときに感じている悩みや疑問について載っていたため、興味がわきました。



デンタルダイヤモンド社刊

**笠井** Q&A方式だから、悩みに共感でき、夢中になって読みました。

**小林** 細かい説明と豊富な写真を見て、実際にやってみたいという気持ちが強く

なりました。

**仲村** 私は、文章と写真を見ながら、実際に模型でも練習しました。

**笠井** 私は、今はまだ、患者さんの口腔内でSRPをしていませんが、早くSRPができるようになりた〜い(>\_<)!!

### 歯科衛生士 (9月10日発行)

A4判変型 102ページ 1,470円

特集『科学的&臨床的視点で侵襲性歯周炎を再確認 ~長期的に健康を守るために~』

**笠井** 知らない名称、略語が多く、イメージがわきにくかったためまったく頭に入らなかった…。ただ、今後必要な知識だと改めて感じたため、さらに読みこんで自分のものにしていきます!!

**仲村** それぞれの特徴がまとまっていて分かりやすく楽しかったです。今まで曖昧に

していたところもありましたが、これを読み、少しまとまった感じがします。

**小林** 重要なことを別枠で詳しく記載してあるため、読みやすかったですね。全体的に文字が多かった

ので、写真、イラストがもう少しあったらよかったですね。

**笠井** 後半の長期症例では、ここまでよくなるとは驚き!!

**仲村** 長く通っていただくには、歯周基本処置の技術だけではなく、コミュニケーションが重要ですね。

**小林** 良好なコミュニケーションにより、信頼関係がうまれると、モチベーション維持にも繋がるのですね。



クインテッセンス出版刊



### 編集後記

【The HyG Times】第13号です。先日行われた【ヘルスケアミーティング2011】日本ヘルスケア歯科学会としては、初の大きなイベントとなりました。もちろん顔ぶれはおなじみですが1日目も2日目も皆さんの心に何か響く2日間だったのではないのでしょうか。経験年数が何年であれ、どこの医院であれ、たくさんの先輩がいてたくさんの後輩がいる…。それが\*日本ヘルスケア歯科学会\*であり\*ハイジなわた歯\*なんですよ。(「ハイジなわた歯」隊長：山田美穂)「ハイジなわた歯」HP <http://hyg.healthcare.gr.jp/> [ハイジなわた歯]で検索!